

建設工事等の入札・契約業務に関する不当な情報提供要求等対応要領

(うるま市)

(目的)

第1条 この要領は、うるま市が発注する建設工事及び測量・建設コンサルタント等委託業務（以下「建設工事等」という。）の入札・契約業務に関し、うるま市職員（以下「職員」という。）が受ける不当な情報提供要求及び不当な働きかけへの対応について必要な事項を定め、情報の共有化により組織としての適切な対応を徹底するとともに、建設工事等の入札・契約業務の公正性及び透明性の一層の向上を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この要領において「不当な情報提供要求」とは、非公表又は未公表の情報及び法令違反につながる可能性のある次の情報を職員から聞き出そうとする行為をいい、勤務時間内に行われたものであるか否かを問わない。

- (1) 一般競争入札の入札参加申込者の名称又は数
- (2) 指名競争入札の指名業者の名称又は数
- (3) 予定価格（入札書比較価格を含む。）
- (4) 設計金額及び事前公表していない歩掛や単価
- (5) 最低制限価格
- (6) 低入札調査基準価格
- (7) 総合評価方式の落札者決定に係る評価点
- (8) その他、入札・契約に関する秘密に属する情報

2 入札公告等の定めに基づき、設計数量・製品の種類・現場条件等の疑義、公表された積算基準等の問い合わせについては、この要領に規定する不当な働きかけに該当しないものとする。

3 この要領において「不当な働きかけ」とは、入札執行に関して法令違反につながる可能性のある不適当な行為を職員に行うことをいう。

4 この要領において「不当な情報提供要求等」とは、不当な情報提供要求及び不当な働きかけをいう。

(対応、記録及び報告等)

第3条 職員は不当な情報提供要求及びその疑いのある要求に対しては、回答してはならない。

2 職員は、不当な働きかけ及びその疑いのある行為に対しては、可能な限り複数の職員で対応するものとする。

3 職員は、不当な情報提供要求等又はその疑いのある要求等を受けたときは、相手方に対して当該内容を記録すること及び不当な情報提供要求等に該当する場合は

その概要を公表することを告知するよう努めるとともに、「不当な情報提供要求等対応記録簿」（別記様式１）を作成して、速やかに当該内容を課等の長（以下「所属長」という。）に報告しなければならない。

- ４ 職員は、第３項の記録の作成に際しては、事実と相違がないよう留意するものとし、相手方の氏名、連絡先等の確認ができない場合においても、氏名連絡先等不詳で整理するものとする。
- ５ 所属長は、前項に規定する報告を受けたときは、検査課長に報告しなければならない。この場合において、当該報告に係る事案が複数の課等に関係するときは、検査課長は、あらかじめ、関係する所属長と調整するものとする。
- ６ 検査課長は、前項の規定による報告を受けたときは、都市計画部長に報告するものとする。
- ７ 都市計画部長は、不当な情報提供要求等又はその疑いのある要求等の内容が重要であると認めるときは、市長に報告するものとする。

（記録簿の保管）

第４条 所属長は、記録簿を適正に保管・保存しなければならない。

（公表等）

第５条 市長は、不当な情報提供要求又は働きかけ並びにそれらの疑いのある要求等の概要を別記様式２の「不当な情報提供要求等対応一覧表」により随時公表するものとする。公表の方法は閲覧によるものとし、都市計画部検査課において、閲覧受付簿に必要事項を記入して行うものとする。閲覧期間は公表した翌年度の３月３１日までとする。

（対応措置）

- 第６条 市長は、第３条第７項の規定による報告を受けたときは、当該業務の適正な執行を確保するため、不当な情報提供要求等又はその疑いのある要求等の内容に応じて組織として必要な措置を講ずるものとする。
- ２ 市長は、「うるま市建設工事競争入札参加資格及び指名基準等に関する規程」（平成１７年うるま市告示第７号）第６条第１項に規定する建設業者格付名簿に登録されている有資格者が、不当な情報提供要求等又はその疑いのある要求があったと認められる場合は、情報入手の有無にかかわらず「うるま市建設工事に係る指名停止等の措置に関する要綱」（平成１７年うるま市告示第１２号）に基づき指名停止等の措置を行うものとする。

附 則

この要領は、平成２３年９月１日から施行する。